

独立行政法人 日本学術振興会
結晶加工と評価技術 第145委員会
第136回研究会

- ・テーマ： 「太陽電池 ー高性能化に向けた最近の研究動向ー」
- ・日時： 2013年12月12日(木) 13:00~17:15
- ・場所： 明治大学 駿河台キャンパス 大学会館8階 第3・4会議室
- ・世話人：坂田 功(産総研)、宇佐美 徳隆(名古屋大学)、太子 敏則(信州大学)

プログラム：

13:00~13:05

開会の挨拶

JAXA/明治大学

田島 道夫

13:05~13:10

はじめに

名古屋大学

宇佐美 徳隆

13:10~14:10

(1) 「Metals in Silicon for Solar Cells

- General Aspects of PV in Germany and Recent Results from Fraunhofer ISE -」

Meiji Univ./JAXA and Fraunhofer ISE

Martin Schubert

14:10~14:50

(2) 「太陽電池用シリコン結晶の世界動向」

九州大学応用力学研究所

柿本 浩一

14:50~15:10 休憩

15:10~15:50

(3) 「中間バンド型太陽電池の現状と課題」

東京大学先端科学技術研究センター

岡田 至崇

15:50~16:30

(4) 「硫化法による CZTS 薄膜太陽電池」

長岡工業高等専門学校

片桐 裕則

16 : 30 ~ 17 : 10

(5) 「結晶シリコン太陽電池技術の現状と課題」

豊田工業大学

大下 祥雄

17 : 10 ~ 17 : 15

まとめ

産業技術総合研究所

坂田 功

17 : 40 ~ 19 : 40

懇親会 (会場 : リバティータワー 2 3 階 宮城浩蔵ホール)